

H28全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた指導改善【家庭学習編】

# 学校全体で取り組む 家庭学習習慣の充実

この生徒たちがH26年度県調査(中1)の時には、**67.9%**でした。

【H28全国学力学習状況調査「児童・生徒質問紙」結果より】

平日(授業以外)の家庭学習時間1時間以上

	管内平均	全国平均
小学校	68.1%	62.5%
中学校	<b>57.3%</b>	67.9%

小中ともに全国より低い。

全国より **-10.6%**

土・日の家庭学習時間2時間以上

	管内平均	全国平均
小学校	<b>17.8%</b>	24.2%
中学校	<b>29.1%</b>	40.1%

## 管内の課題

- ★小・中ともに土日の家庭学習時間が少ない。
- ★中学校の家庭学習時間(平日1時間以上)が全国に比べ少なく、管内の小学校よりも少ない。

## 家庭学習習慣定着に向けて学校としての取組を!

- ★家庭学習時間の確保
- ★家庭学習内容の工夫

「家庭学習のスタンダード」を活用した取組改善を!

宿題(基本的な学習内容)+自主学習(予習復習等)

## 小学校段階での改善ポイント

### □家庭学習の時間の確保【学年×10分以上】

家庭学習は「宿題+自主学習」ということを職員が意志統一するとともに児童に徹底する。

### □授業の復習や予習に取り組む自主学習の指導

- ☆優れた自主学習ノートや取組例を提示し、学習方法を指導する。
- ☆習慣化に向けて、低学年から計画的に取り組ませる。

※優れたノート例は教育庁義務教育課HPや「お手本ノート通信」で入手できます!

**中学校  
定期考査期間中に  
生活リズム向上!**

家庭学習の充実には生活リズム向上が欠かせません!



## 中学校段階での改善ポイント

### □家庭学習の時間の確保【2時間以上】

- ☆各教科の自主学習の取組内容や学習方法について丁寧に指導する。
- ☆定期的に一人一人の学習時間を確認し、称揚したり、励ましたりする。

### □教科間での内容と量の調整

職員室等に家庭学習の課題を提示するなどして、教科ごと、日ごとのばらつきを解消する工夫を行う。

### □提出物の点検・評価の徹底

- ☆点検によって取組内容の把握を行う。
- ☆頑張りを認める記号(まる付け、スタンプ、A・B等)による評価を行い、意欲付けを図る。

小中間での連携した取組、家庭を巻き込んだ取組に期待! 2学期中間考査・期末考査と関連させた取組期間の設定を!